

Youth Manna

マルコ1:35
さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/6/5(月)

ヨシュア10:1-15

エルサレムの王は、イスラエルと和を講じたギブオンを打つため、他の4人の王と手を組んだ。この5つの国の連合軍がギブオンに対して陣を敷いたので、ギブオンの人々はヨシュアに助けを求めたよ。

- ①助けを求められたヨシュアはどうしたかな？
- ②神様がヨシュアに約束したことは？実際に神様はイスラエルをどのように助けただろう？
- ③神様に不可能はないということを、君はどれほど信じているだろうか？神様の御心を行ないたいと願い、神様に求める時、神様が道を開いてくださることを信じよう！

2023/6/6(火)

ヨシュア10:16-43

五人の王たちを討った後、ヨシュアは7つの町と王を攻め取ったよ。その様子は「すべての者を剣の刃で討ち、一人も残さなかった」と繰り返され、最後に「息のある者はみな聖絶した。イスラエルの神、主が命じられたとおりであった」と書かれているね(40節)。君はこの箇所を読んでどう思ったかな？

厳しい出来事だけど、神様の聖絶の命令は、人の罪が神様の前にどれほど罪深いものであるかを思わせるものだ。この地上に増え広がる罪に対して、神様は大きなご計画を持っておられ、イスラエルの建国の先に、すべての人の罪を背負われるイエス様へと繋がっていく。

- 自分自身の内にある罪を、君はどう見ているかな？
- 君にとってイエス様の十字架はどんな意味があるだろうか？

2023/6/7(水)

ヨシュア11章

ハツォルの王ヤビンは、イスラエルの勝利を聞いて恐れ、周囲の国々の王たちに共同作戦を訴えた。その結果、「彼らはその全陣営とともに出てきた。海辺の砂のように大勢の民で、馬や戦車も非常に多かった。」と書かれる。

主はヨシュアに「彼らを恐れてはならない。…私は彼らをことごとくイスラエルの前で刺し殺されたものとする。」と約束された。そしてイスラエルは彼らを一人も残さず討った。

イスラエルは、海辺の砂のような大連合軍と戦ったが、主の約束ゆえに勝利を収めた。目に見える基準で敵を恐れることなく、主に信頼できるよう祈ろう！

2023/6/8(木)

ヨシュア12章

12章は約束の地占領の大まかな要約が書かれている。6節までは、モーセによって占領された地域で、9節からはヨシュアによって占領された地域である。

1章5節で神様が述べられた、「あなたの一生の間、だれ一人としてあなたの前に立ちだかる者はいない。わたしはモーセとともにいたように、あなたとともにいる。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」を実感する数々の戦いだったであろう。

私たちにもさまざまな戦いがある。短い時々の中で見たら敗北に感じることはたくさんあるかも知れない。でも全ては神様の支配の中にある。

神様に頼ることができているだろうか？信頼して歩もう！！困難があるなら祈ろう！！

2023/6/9(金)

ヨシュア13:1-14

●1v神様は老人になったヨシュアに、占領すべき土地について何と言ったかな？

●自分にも、まだ残されてる「占領すべき地（やり切れてないこと、伝えきれてない人など）」はあるか、考えてみよう。

●その土地について神様は6vの約束をしてくださった。でもイスラエルは完全には従わなかった。それは約束を信じきれなかったからだろう。君はどうだろうか？

2023/6/10(土)

ヨシュア13:15-33

今日はルベン部族に相続地が与えられるところから始まっているね。それぞれの部族には、弱みを持っていたところもあれば、相続地を受け継ぐことに積極的だったところもある。私たちがすべての理由を知ることは難しいけれど、その中で神様は、神様の計画として相続地を与えられている。それは私たち人の思いや考えを越えるほど大きなものだよ。私たちにも神様はそれぞれの計画、与えようとしているものがある。人の枠を越えた主からのものを大胆に受け取れるように祈ろう！

2023/6/11(日)

ヨシュア14章

カレブは45年前に神様が語られた約束をヨシュアに話し、ヨシュアはヘブロン山地をカレブに与えた。

カレブは長い間、神様が約束して下さったことを覚えて、歩み続けた。

14節「彼がイスラエルの神、主に従い通したからである。」

ここでは、ただ従うだけでなく、「従い通した」と書かれている。従い続けるために、今日できることはなんだろうか？今日、あなたが主に従う歩みを祈り、神様に告白しよう！！